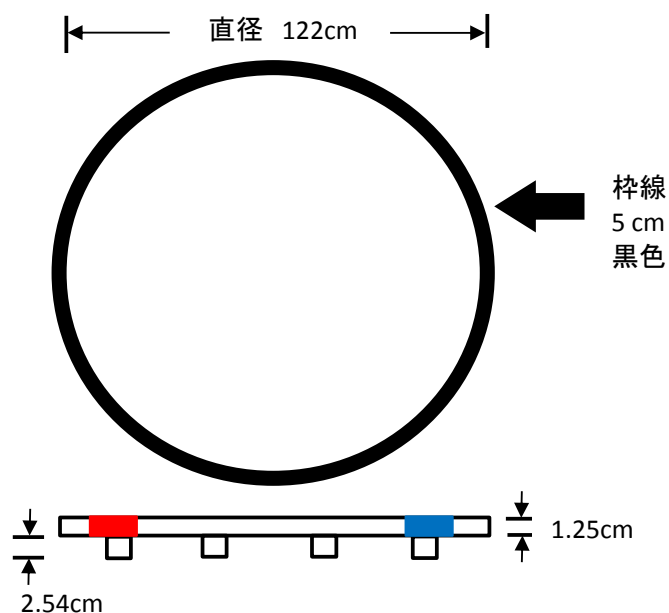


## Sumobot Challenge ルール



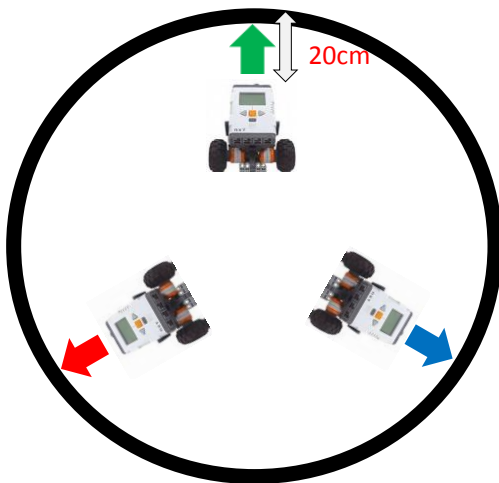
### ●競技ルール

- ・ロボットに複数のセンサーやプロセッサを使用してもかまいません。
- ・対戦は原則3台で行います。対戦相手を土俵から押し出せば勝ちになります。
- ・やむをない理由で2チームだけの対戦になった場合は、勝者の点数は2点となります。
- ・審判の合図で一斉にスタートし、競技時間は1分間です。
- ・競技は以下の場合、競技時間内(1分)で再スタートとなります。再スタートにかかる時間はロスタイム扱いとします。
  - ・対戦ロボットが5秒間動かない場合
  - ・もし勝敗がつかないまま1分間が経過した場合、15秒延長されます。
- ・複数のロボットが土台から落ちた場合、先に落ちたロボットのチームが敗北となります。  
審判が見分けられないほど同時に落ちた場合は、やり直しとなります。
- ・競技回数は25回までです。
- ・チームが得た得点のうち、上から10回のスコアの合計で、上位9チームが決勝トーナメントに進みます。

### ●得点

- ・ロボットが押し出された時点で相手のロボットの1点獲得になります。  
もし、2台のロボットが同時に1台のロボットを土俵外に押し出したときは、両方のロボットに1点加算されます。
- ・3台のロボットで競技が開始され、競技時間内に2台のロボットを押し出した場合はボーナスポイント1点が加算されます。

## ●スタート時のロボットの配置



- ・土俵の縁から、およそ20cm離れた場所に、土俵の**外側に向けて**ロボットを置きます。
- ・スタート位置の土俵側面には緑・赤・青の目印があります。

## ●チェックイン

ロボットの大きさが**18cm × 18cm**を越えていないかどうか、また、重さが**1.5kg**を超えていないか競技に入る前に確認します。  
重さについては、競技の一回ずつで再度計測します。

## ●トラックの詳細

- ・円の直径(黒色で塗りつぶされた所を含む)は1220mmで、だ円形でなく、真円に近いものとする。
- ・円の地色は白色、周囲(黒色で塗りつぶされた部分の直径)は50mm。
- ・ロボットのスタート位置の目印として、側面に緑・赤・青の色がついている。
- ・素材はポリウッド、もしくは磁石に反応しないもの

## ●禁止事項

- ・以下のようなパーツの使用や装備を禁止します。
- ・相手の動きを妨害するような部品、土台を傷つけるような部品、相手のロボットを傷つけるような部品、
- ・液体・粉末・ガスの使用、発火性のあるもの、網などの飛び道具、糊・吸盤・磁石のような接着するもの、
- ・**相手をすくい上げたりする部品**
- ・リモコンなど、遠隔操作ができる仕様は禁止します。
- ・競技中に、ロボットのパーツをわざと外すことは禁止します。  
その場合、パーツが外れたチームは敗北とます。

●決勝トーナメントについて

- ・各部門で上位9チームが決勝トーナメントに進出します。
- ・上位9チームの中で同点が出た場合、決勝進出決定戦を行います。
- ・進出を決めた際のポイントに応じて、以下のトーナメント表の通りに対戦を進行します。

“RoboRAVE Kaga Japan 2018” 決勝トーナメント表

**トーナメント順位について**

- ・ラウンド1で負けたチームは、決勝進出を決めた時点のスコアに応じて7～9位まで順位をつける。
- ・ラウンド2で負けたチームは、決勝進出を決めた時点のスコアに応じて5、6位まで順位をつける。
- ・ラウンド2で勝った4チームは決勝ラウンドで対決し、4位～優勝を決める。

